



センターニュースをお読みの皆様へ

2020年9月1日に医務部長を拝命しました中村由紀子と申します。大学病院や小児病院の小児神経科を経て、2015年から島田療育センターはちおうじに着任し、今年4月に多摩市の島田療育センターに異動しました。

島田療育センターの診療では新しい出会いもあれば、以前関わっていた患者さんとの感動の再会もあり、心温まる日々を過ごしております。当センターのスタッフは利用者様やご家族に熱意を持って接して

おり、そこから学ぶこともたくさんあります。院内の他職種がスムーズに連携し、スタッフが一体感を持ってセンターの業務に携わることが、利用者様やご家族にとっても安心な環境を提供するにつながります。診療のみならず、そのような環境づくりに微力ながら尽くしてまいります。



医務部部长
中村 由紀子

アートピア

どこでもコンサートを開催しました

11月8日(日)の午後、厚生棟研修室を会場にしてアートピア：「どこでもコンサート」を無観客で開催しました。コロナ禍のなか、各病棟へはライブ中継で楽しいコンサートの映像が届けられました。今回のアートピア様は4名で、進行役の溝上様と、ソプラノ歌手・クラリネット奏者・ピアノ奏者の方々でした。さんぼ(トトロ)・子犬のワルツ・秋の歌メドレー・クラリネットポルカなど、利用者様が親しみやすい曲・楽しい曲が各病棟のテレビの画面に流れ、楽しい時間を過ごすことができました。

(編集委員 高橋 節夫)



還暦・古稀のお祝い

11月12日(木)、厚生棟研修室を会場にして「還暦・古稀のお祝い」を開催しました。今年度は、利用者様の感染対策に配慮した3部構成のお祝いの会となりました。午前は第2病棟、午後は前半に第5病棟、後半に第7病棟の利用者様をお祝いしました。

素敵に装われた還暦の方5名と古稀の方1名は、お祝いの言葉や花束贈呈を受けた後、スクリーンに投影されたお祝いビデオメッセージを楽しく視聴しました。会場の和やかで温かい様子は、ライブ中継で各病棟に届けられました。

(編集委員 高橋 節夫)





9月下旬～11月に行われた各病棟行事、イベントの情報をお知らせいたします。(編集委員 高橋 節夫)

デイケアセンター
「秋フェスティバル」

9月25日(金)、雨天のため、午前中はグループに分かれて屋内やテラス、玄関などへキャラクターを捜しに散策しました。午後はビーズやお花、木の実、葉っぱなどを使って「フォトスタンド」を作りました。フォトスタンドは幼児室の入り口に飾りました。



第1病棟
大遠足

第1班は10月27日、第2班は11月17日に実施しました。場所は厚生棟研修室とグラウンドを使用し、「島田農場へ～秋の収穫祭を満喫しよう」がテーマでした。4グループが順番にぶどう・柿・りんご・みかんのフルーツ狩りを楽しみました。秋の風景の中でゆったり過ごすことができました。



第2病棟
大遠足

第1班は10月8日、第2班は11月27日に実施しました。東京オリンピックは延期となりましたが、オリンピックにちなんで「ボッチャ」をしました。2病棟バージョンにして「スポッチャ」という名で楽しみました。勝負事は利用者さんも職員も真剣そのものでした。



第3病棟
大遠足

10月14日、東棟大遠足を実施しました。センター内のあちこちに設置した<謎解きスポット>を、小グループに分かれてお出かけ気分で巡りました。全て巡ると映画チケットが手に入り、厚生棟映画会の映像を見ながら謎解きの答え合わせをして楽しみました。



第5病棟
大遠足

第1班は10月20日、第2班は11月11日に実施しました。厚生棟研修室を会場にして誕生会と活動：「e-Sportsで楽しもう」を行いました。ゲーム場面をプロジェクターで大きく映し出し、チーム対抗でバーチャルチャンバラ大会をして盛り上がりました。笑顔と歓声につつまれました。



第6病棟
大遠足

10月15日、「ハロウィン」をテーマに大遠足2班を実施しました。午前中は4グループに分かれて、マントとステッキの制作を頑張りました。午後は制作したハロウィンアイテムのお披露目会をしたり、パズルやお菓子を集めるゲームをして楽しみました。



第7病棟
大遠足

第1班(西棟)は9月30日、島田オリンピックをテーマにボッチャと風船落としゲームを実施しました。第2班(東棟)は10月7日、水族館をテーマに海の生き物を飾り付けてゲームや感触遊び等で楽しみました。両日とも厚生棟会場の盛り上がりは最高でした。



言語聴覚療法科によるYoutube動画



言語聴覚療法科がYoutubeで配信している動画【ことのはチャンネル】を紹介します。「生活の中を楽しみながら療育を取り入れてほしい」「お子さまの言葉の育ちのお手伝いがしたい」そんな想いから、この取り組みは始まりました。

内容は、言語発達の基礎となるやりとり遊びから、語彙や概念の獲得を促す関わりなど、ことばの発達期にあるお子さんであれば、どなたでも楽しめる内容となっています。また、保護者の方々や、乳幼児に関わる先生方にも、日々の関わりの参考にしていただけるように作成しています。動画で使用している教材は、当セ

ンターのブログほっけでも紹介しており、ダウンロードもできますので、合わせてご覧いただければと思います。一人一人の言葉の発達がのびのび育ちますように。ことばが のびのび【ことのはチャンネル】！ぜひ、一度覗きにきてください。

(言語聴覚士 白井 真奈美)



ブログ・動画はこちらから



親子で遊ぼう！



にこにこグループは、発達にご心配のある2歳から3歳（年少前まで）のお子さん、その保護者を対象とした親子参加型のグループです。作業療法士（運動・手先・感覚）、言語聴覚士（ことば・コミュニケーション）、公認心理師（関わり・発達）など、お子さんの発達における各分野の専門職がスタッフとして関わっており、ふれあい遊び、サーキット運動、ペープサート（紙人形



ペープサートの様子

劇)をはじめ、さまざまな活動を通して、発達への理解を深めたり、育ちを促す関わりについて一緒に考えていきたいと思っています。今年度は、コロナの影響もあり活動をお休みしていますが、今後の再開に向けて準備を整えつつ、当センターのブログほっけの中でもお子さんの発達について情報発信を行っています。

お子さんにとっても、保護者の方にとっても、“にこにこ”笑顔なひとときとなれば幸いです。

(作業療法士 岡田 宏明)

ブログ・動画はこちらから



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか？このコーナーはネットワークしまだで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。

Q
いつも姿勢がわるく、いつもゴロゴロしている。身体もふにやふにやしているし…どうして？

A
体幹の筋肉の発達を促しましょう！
良い姿勢を保つことや、立ったり歩いたりするときに、身体をシャキッとさせるためには、体幹の筋肉の働きが必要です。姿勢の崩れやすいお子さんの多くは、体幹（腹筋と背筋）に力を入れることに苦手さを抱えている場合が多いです。
体幹の筋肉の発達を促すためには、身体を動かす習慣をつけることが大切です。滑り台やブランコ、アスレチックなど

公園の遊具でたくさん遊べると良いのですが、昨今のコロナ渦によりなかなか遊びに行かづらい…そのような時には家の中でできることを見つけてみましょう。

例えば、お手伝いは意外と身体を動かす必要があります。雑巾がけ、窓ふき、お風呂掃除、お盆で配膳も良いですね。他には、押し車や抱っこ・お馬さんごっこでのしがみつきの、ちょっと近所にお散歩など歩く機会を作ることも大切です。積極的に外出しづらい状況ですが、できることから体を動かす機会を見つけてみてください。
(作業療法士 福島 良太)

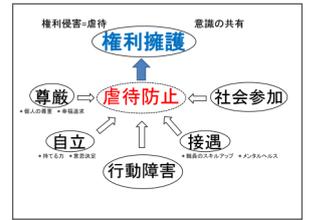


虐待防止研修を実施しました

今年度の虐待防止研修は感染対策のため、録画された研修内容を個別に視聴する形式で行われました。全職員対象に8月31日から10月29日までを受講期間としました。

病棟、通所でそれぞれ虐待防止マネージャーを担当している樋口看護主任と新明療育主任が講師となり、虐待防止法の説明や当センターの取組みの紹介などを細やかに伝えてくれました。また、落合部長から6月に行った虐待防止チェックリストの分析結果の報告もありました。

本来の院内研修であればグループワークも予定していたので、活発な意見交換がなされたかもしれません。研修視聴後、「小さな出来事」という題でアンケート記入をしてもらいました。日常の小さな出来事を見逃さず、不適切な支援とならないような職場環境作りに努めなければなりません。お互いに声をかけあうこと、語り合うこと、職員同士のみならず利用者様、ご家族や地域の皆様とのコミュニケーションを、これからも大切にしていきたいと思えます。
(編集委員 宮田 雅美)



オンライン面会を実施しています

新型コロナウイルス感染防止の為、3月から対面での面会ができない状態が続いています。そこで当センターでは入所利用者様とご家族をビデオ通話でつなぐオンライン面会の方法を2つ整えました。

①ご家族(ご自宅など)と利用者様(病棟)をLINEビデオ通話でつなぐ方法、②LINEが使用できないご家族向けに、センターにお越し頂きご家族(会議室)と利用者様(病棟)を専用端末でつなぐ方法。いずれもテレビ電話のように離れていても顔が見られるビデオ通話での面会です。

スピーカーから数か月ぶりに聞こえるご家族の優しい声に最初は戸惑う様子も見られましたが、画面越しにお顔を見つけると笑顔になったり、頷かれたり、お声をだして会話されたり

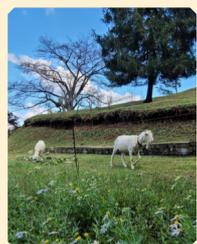


と、それぞれに面会を楽しんでいらっしゃいます。最後は笑顔で「またね!」と画面に手を振り終了です。

1日でも早い対面での面会を待ちながら、暫くはオンライン面会が続きます。申込みは随時受け付けておりますのでお問合せお待ちしております。

(庶務科長 駒場 直子)

おしらせコーナー



ヤギさん、お世話になりました

今年も大人気だったヤギさんですが、10月末で一旦お別れとなりました。来年も暖かくなったらまた来てもらう予定です。

家族向け発達支援講座 「どうしておはしってむずかしいの?」

日時 2021年1月16日(土)
10:00~11:15

対象 就学前後のお子様を持つ保護者
会場 永山公民館4階 集会室
定員 15名(定員に達し次第締め切り)



この季節、検査室の扉を開けると目に飛び込んでくる銀杏の黄葉風景が見事で、気づいたらほぼ毎年写真を撮っていました。黄葉ピークは2016年、19年が11月21日頃、18年が27日頃で今年は16日の今がピークなので例年より数日早いようです。こうやって身近なところでも定点観測を続けると意外と見えてくるものがあるのかもしれないですね。



発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 **島田療育センター**
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

